

研修理念・基本方針

研修理念

プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、

さらに地域医療・高度急性期医療に貢献できる人材を育成する。

基本方針

1. 日常よくある疾患から重症疾患、救急疾患を多数経験し、

適切かつ実践的なプライマリ・ケアを行うための「基本的な診療能力」を身に付ける。

2. 医療の果たすべき社会的役割を認識し、また全人的で EBM に基づいた医療を

実践するために、「医師としての基本的価値観」の醸成を重視する。

3. 患者さんやその家族との十分な意思疎通と信頼関係の構築、

さらにチーム医療実践に必要な「基本的なコミュニケーション能力」を高めること努める。